

鎌倉 パートナーズ



第56号 平成22年(2010年)9月発行(季刊)
鎌倉市市民活動センター広報紙

目 次

ボランティア体験・研修会報告	P 2	イベント紹介	P 6
ミニコラム・おもいえとせとら	P 3	助成金情報・相談Q&A	P 7
利用登録団体懇話会	P 4~5	センターからのお知らせ	P 8



(ボランティア体験)



ボランティア体験 夏！！

この夏、多くの学生、生徒が様々なボランティア・福祉活動の体験に参加しました。

NPOセンターと社会福祉協議会共催の「ボランティア・福祉体験学習活動」に11名、鎌倉高等学校総合学習「鎌倉学」などに約100名。参加された皆さんの感想は・・・・・・・・。

小学生と触れ合う機会がひさしぶりだったので、楽しかった。
(「輝き・遊っ子楽っ子」中川)



「また、来ました〜」。今回で3回目のボランティア。話も弾みます。食事もおいしかった。(「デイ・西かま」川崎)

施設の掃除も大事な仕事です！

広町の森で、藍染をしたり子どもたちと一緒にジャガイモ堀をしたりしました。
(「広町の森市民協議会」藤原、海堀)



参加校： 県立金井高等学校、県立茅ヶ崎西浜高等学校
県立茅ヶ崎北陵高等学校、県立鎌倉高等学校
私立湘南白百合学園高等学校、自由の森学園高等学校
町田福祉保育専門学校、日本大学、北海道情報大学

協力施設・協力団体： 岡本保育園、腰越保育園、材木座保育園、特養鎌倉静養館、かまくら愛の郷、工房ひしめき
デイ・西かま、認定こども園(深沢)、輝き・遊っ子楽っ子(深沢第一子ども会館)
鎌倉広町の森市民協議会、図書館とともだち・鎌倉、鎌人いち場、鎌倉を美しくする会

(※) 鎌倉学： 鎌倉高等学校の総合学習として行われている「鎌倉のよさを学ぶ」学習

研修会「効果的なプレゼンテーションへの取り組み方」

研修部会

研修部会ではこれまでに研修会シリーズとして「チラシの作り方」、「パネルの作り方」を取り上げてきました。そして、今回、締めくくりとしての第3弾「プレゼンテーションへの取り組み方」を7月24日(土)に開催しました。

講師には、日本各地で市民活動のアドバイス、コーディネーターをされている「東京ボランティア・市民活動センター」統括主任の高山和久氏をお招きして助成金獲得のポイント・コツをわかりやすく説明していただきました。

まず、目的が何なのかを明確にし、丁寧に申請書を書くことが大切です。その時に団体内でしっかり話し合いをすることが、結果的に団体の成長、レベルアップにつながっていくとのことでした。いくつかの事例の中で、「多摩ニュータウン」の夏祭りやぐらをたてたいという目標を持ち、協賛金を集めるために苦労した話などは、大変興味深く聞かせていただきました。



『夢』をかたちにするという目的をもち、あきらめないことが、助成金を獲得するためにはとても大切なことだと教わりました。

NPOセンターでも助成金情報を豊富に取りそろえてご紹介しています。HPもご覧いただき、どうぞセンターまでご相談ください。

HP : <http://www3.ocn.ne.jp/~npo-kama/joseikin/index.htm>

研修部会 佐藤千津

ミニコラム

「鎌倉のまちづくり市民懇談会」(通称市民懇)は今年で創立38年、鎌倉で3番目に古い市民団体です。これまでに関わってきた中で一番よく知られているのは正月三が日の交通規制でしょう。今では毎年当たり前のように行われていますが、もともとは市民の「お正月は静かに過ごしたい」という願いが行政や警察を動かし、実現されたものなのです。

私が市民懇に関わるようになったのは平成4年からです。活動を通じ本当にたくさんの方と出会うことができましたし、さまざまなことを体験することができました。鎌倉には鎌倉が好きで鎌倉をより良くしたいと願っている方がたくさんおられます。そうした市民の知恵や力を合わせることで、鎌倉を住みやすいまちにするために重要であり、欠かせないものであると実感しています。

そういう思いのもと、「鎌倉オピニオン」を発行しています。年に一度くらいのペースでこれまでに16号を発行しました。最初は小さな声でも次第に大きな波となる、また市民の一人一人が色々な形でオピニオンを通じてつながっていくといった手ごたえを感じています。



また鎌倉市内をまちづくりの視点で実際に見て歩く「市民懇まちあるきツアー」を行っています。昨年は「鎌倉の世界遺産候補地めぐり」を企画し、今年の5月には初めて新潟県にまで足を延ばし、オピニオン16号に掲載した長岡市の長岡造形大学や中越地震で大変な被害を受けた山古志を訪れました。この山古志のまちづくりについては次の17号に掲載を予定しています。

今鎌倉では何が問題とされているのか、また市民はどういう鎌倉にしたいと願っているのか、「鎌倉オピニオン」は様々な市民の様々な声を取り上げ、微力ながらまちづくりに貢献していきたいと願っています。

(鎌倉のまちづくり市民懇談会 代表 田川陽子)

お も い ぜ せ せ ら

今、あらためて、スタッフになってからの9年余りをふり返ってみると、この間にセンターを中心として出会った多くの方々との交わりや体験の中から、私はそれ以前とは違った新たな示唆を、数々頂いたと実感します。

そのひとつが「地域を存分に楽しむ」という視点ですが、歴史的にも、自然環境的にも、また何より人との交流ということでも、この鎌倉こそ「地域を楽しむ」最上の地、と思っております。
(阿部芳子)

センタースタッフ紹介

夏の暑い日、汗をかきかき紙折機を相手に奮闘している方。「遅くなってしまったけれど、今から印刷よろしいですか。ごめんなさいね」と言いながら駆け込んで来られる方。大きいおなかを抱え活動の打ち合わせをされている方……。年代は様々。

「なぜ、皆さんこんなに一生懸命なのだろう」「なぜ、市民活動が必要なのだろう」。子どもの手が離れて、何かお手伝いできたら、と始めたスタッフ。センターでお会いする皆さんのおかげで、「なぜ」が分かってきたように思います。

スタッフの仕事をとおして、私の市民活動の一步が始まりました。
(中垣道子)



平成22年第一回

利用登録団体懇話会



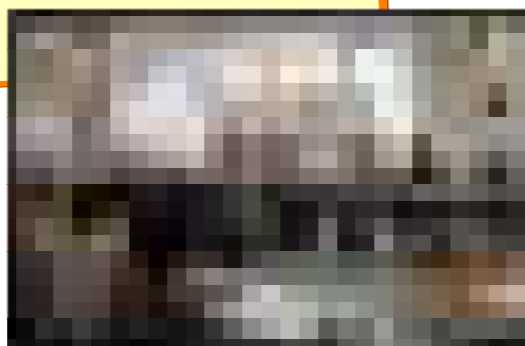
参加された登録団体の紹介

- 鎌倉市政を考える市民の会
- ギャラリー・イン・ホスピタル
- 梶原山サポートセンター

交流親睦会では、名刺を交換されるなど、団体同士の連携を持つことにより横のつながりを広げようと話が深まり、交流の輪がさらに広がりました。

たまなわ交流センター会議室において、
23 団体 38 名の参加により
平成 22 年度第 1 回「利用登録団体懇話会」が開催されました。

- ☆ 理事長挨拶、新役員紹介
- ☆ 今年度事業計画及びイベント紹介
「助成金情報冊子」についての説明
- ☆ 「かまくら市民活動の日フェスティバル」のDVD上映



鎌倉市政を考える市民の会は
「明日のかまくらを創る市民 100
人会議」・行政経営ワーキンググ
ループを母体として生まれた、
市政全般に提言を行う団体です。



開発に関するさまざまな提言のうちから「鎌倉市コインパーキングの設置等に関する指導要綱」ができ、他にも、審議会の改革にたいする提言や「路上喫煙の防止に関する条例」へのパブコメ提出、「みどりの基本計画」への意見提出などを行ってきました。担当課と意見交換の場を設け、現場を見学し、より良いまちづくりと行政経営の効率化を進めるための活動を続けています。また世界遺産登録推進協議会に世話人が参加しています。

昨年かから鎌倉市との協働事業「WE LOVE 若宮大路」が始まり、県とも連携して一の鳥居付近に松7本を植えました。新しいテーマである公衆トイレについては近々提言を予定しています。発足は平成 18 年 4 月で、毎月 1 回定例会を NPO センターで開催しています。皆で歓迎しますので、ぜひ一度のぞいて見てください。

鎌倉市政を考える市民の会

誰もが大好きで、清新なパワーをもらえる『富士山』の写真を、病院や介護施設、公共の場に展示したいと、NPO活動を立ち上げました。検索や交渉の結果、NHK静岡の毎年行われている『富士山写真コンクール入賞作品』の特大大パネルを提供して頂けることになり、5月のフェスティバルで初公開。施設にレンタル紹介をはじめたところです（1パネル2ヶ月のレンタル価格は、富士山の高さと同じ数字の「¥3,776」。送料は別途）。

NHKからは同時に『富士山写真集』も刊行されています。こちらは新潟県産の天然桐の専用額を、社会福祉法人にて製造してもらうことにしました。写真集一冊をまるごと額の中に納めることができ、60枚の入賞作品を次々と入れ替えて楽しんで頂けます。小スペースの施設に、また特大大パネル購入の資金源として一般販売も致します。展示施設は <http://www.fuzuki.co.jp/> やケータイサイトにて公開予定。プレスリリースもまずはNHKから等、PR力をつけていきたいと思っています。



ギャラリー・イン・ホスピタル

「〇〇さん元気。何か困っていることはない。」地域で、私達がこのように定期的に声をかけてサポートしている高齢者の方は既に3名となりました。私達の組織は、高齢者の方などが地域で安心して長く暮らせるようにするために、生活全般の支援を行う深沢地区のボランティア組織です。今年5月から活動をスタートさせたばかりですが、この3ヶ月間で支援した回数は12回。上記のような日常的にサポートする高齢者の方を今年度中に10名程度に増やしたいと考えています。

サポートといっても我々だけが単独でやるのではなく、地域の各支援者と横の連携を組んで行うことが前提。それが一番効果的で、しかも個々のニーズに即したサービス提供が可能となるからです。また、このような組織は他地域においても必要性は高まっていると見られることから、組織立ち上げ、運営方法などはできるだけ単純化・標準化をはかり、参考としやすいように努めています。自分達の地域にも是非このような組織を作りたいとの御要望があればご連絡下さい。



梶原山サポートセンター



イベント情報

自然環境と人間生活を考える会主催 講演会

開催日：下記参照(講演内容により異なります)
 会場：鎌倉生涯学習センター 第6集会室
 参加費：500円
 主催：自然環境と人間生活を考える会
 後援：鎌倉市教育委員会
 申込先：090-4710-3790(渡邊)
 E-mail: tm6903@live.jp(渡邊)

★大正、昭和、平成の日本に生きて★

「奥の細道」「窓際のトットちゃん」「銀のボンボニエール」(秩父宮勢津子著)の英訳者レイディ・パウチャー卿夫人が「私の心の故郷日本と愛すべき日本人」について語る。

開催日：平成22年9月18日(土)10:00～11:30
 講師：レイディ・パウチャー卿夫人

★暮らしに息づく民俗学

「紅葉が彩る日本の秋・・・哀しく艶やかに」★

「もみじ」にちなんだお話 ●「万葉集」に「紅葉」より「黄葉」が多い謎 ●「もみじ」の語源は「色」に由来・・・●宗達、光琳が挑んだ紅葉の美 ●日本庭園の西側に紅葉を植える理由は・・・●庶民のぜいたくな宴ー春の桜見、秋の紅葉狩り ●紅葉の神ー竜田姫とは・・・

開催日：平成22年9月26日(日)10:00～11:30
 講師：佐伯 仁(民俗学研究者)

★知られざる素顔のバチカン市国と

ローマ法王庁の国際的役割★

人口1000人、面積500メートル四方の国だが、世界のカトリック人口10億人の頂点に立って、大きな国際的な役割を果たしている「バチカン」とはどのような存在か？その知られざる謎を紹介。伊語(日本語通訳付き)。

開催日：平成22年10月16日(土)10:00～11:30
 講師：在日ローマ法王庁大使館エスカランテ参事官

関谷川清掃活動

活動日：平成22年11月14日(日)9:30～11:00
 集合場所：新風台住宅地、信号突き当たりの関谷川付近
 服装：クリーンデーの服装
 持ち物：手鎌、川に入れる方は長靴
 主催：関谷川をきれいにする会
 問合せ先：0467-47-4712(柳澤)
 E-mail: kimi.yanagisawa@nifty.com

相談部会セミナー

開催日：平成22年10月25日(月)
 会場：NPOセンター大船(たまなわ交流センター)
 開始時間：午前:10時、午後:13時、15時
 費用：1講座につき 1000円
 主催：鎌倉市市民活動センター運営会議 相談部会
 申込：0467-60-4555 (NPOセンター鎌倉 事務局)
 申込期限：平成22年10月15日(金)

テーマ(講師)	
午前	NPO法人の税務申告書の書き方(吉野公認会計士)
午後	法人格の選択基準について(小林相談員)
	成年後見制度について(松本行政書士)

※詳細は別紙チラシをご覧ください、NPOセンター鎌倉にお問い合わせください。

AMDA鎌倉クラブ チャリティコンサート XII

(ハイチ地震被災者への義肢支援)

～日仏友好の響き～

演奏者：ベアトリス・ギェルマン(ハープ)
 サンドリーヌ・ヴァスール(クラリネット)
 根津章侖と箏曲絃侖会、藤原匠山(尺八)
 伊藤咲子(唄)、鎌倉子ども日本舞踊サークル
 開催日時：平成22年11月3日(水・文化の日)14:00開演
 会場：鎌倉芸術館 小ホール
 入場料：前売り2500円 当日2900円(全席自由)
 主催：AMDA鎌倉クラブ
 後援：鎌倉市、鎌倉市教育委員会 ほか
 問合せ先：0467-24-2969、090-4619-8701(根津)

玉縄歴史アカデミア 連続セミナー

「玉縄城の遺構を読む」 Vol. 7

「玉縄の素晴らしさ再発見発表事業」の成果を語り合う

報告「ここまでわかった！玉縄城」

伊藤一美氏(NPO法人鎌倉考古学研究所理事)

シンポジウム：伊藤一美氏と当会の担当者

開催日時：平成22年11月21日(日)15:30～17:30
 会場：玉縄学習センター 3階 第4集会室
 参加費：500円(玉縄城500年祭基金、資料代を含む)
 主催：玉縄城址まちづくり会議
 後援：鎌倉市教育委員会
 問合せ先：TEL/FAX 0467-45-7411(荒井)
 E-mail: artbank21@nifty.com
 申し込み：10月1日からFAX、メールで受付
 H P: http://www48.tok2.com/home/tamanawajyo

情報コーナー

助成金情報

- ・今号発行日現在で募集中の助成金は、以下の通りです。
 - NEDO**: 新エネ導入や省エネ推進に資する普及啓発事業 (募集期限 平成 23.1/31)
 - 三菱 UFJ 信託地域文化財団**: 地域の音楽・美術・演劇、伝統芸能の活動 (平成 22.11/30)
 - 日本河川協会**: 水環境保全活動 (平成 22.11/30)
 - トヨタ財団**: 自立と共生の新たな地域社会をめざした仕組みづくり (平成 22.11/8)
 - コメリ**: 美しいふるさとづくりのための、公共性ある緑化活動 (平成 22.10/31)
 - 損保ジャパン環境財団**: 自然保護、環境教育、リサイクル等の実践的活動 (平成 22.10/31)
 - 三井物産**: 地球環境に関する学際・総合/政策研究等 (平成 22.10/29)
- ・この他、平成 22.9/30 締め切りで以下の助成金が募集中です。
 - 住友生命(子育て)、読売光と愛の事業団(障害者・高齢者)、倫理研究所(総合)**
 - こころを育む総合フォーラム(子ども)、ヤフー(インターネット)**
- ・当センターホームページ「助成金情報」に収録されている助成金を、分野別の表に整理し、本号に折り込みました。詳しい募集要項についてお知りになりたい方は、ホームページの明細表をご覧ください。インターネットをお使いになっていない方は、NPO センターへお越しになれば、募集要項を取り纏めた冊子も用意しておりますので、ご参照できます。お越しになれない場合は、必要に応じて FAX でも情報をご提供いたします。どうぞご利用ください。(相談部会)

なお、助成金情報に関してのご意見、ご要望、あるいは助成金に関するご相談がありましたら、遠慮なく事務局までお寄せください。

ボランティア募集

結の技市 2010 ボランティア募集

☆朋ボランティアグループ☆

活動日: 10月～11月の土曜日、日曜日、祝日
10時～17時(都合のよい日時)
場 所: 福祉ショップ・朋の隣にある蔵
(鎌倉市扇ガ谷1-10-6)

内 容: 障がいのある人達が行う販売、
ワークショップのサポート
問合せ: 0467-22-0802(担当 斉田)
※交通費支給(1000円以内)

相談 Q&A

NPO 法人の合併について

Q: 福祉事業を行っているNPO法人ですが、業績不振のため大手の同業NPO法人に合併されることになり、その期日は翌期首ということでしたが、実際には事業年度末近くで解散するように指示されました。これでは合併でなく単なる事業の継承だと思いますが何故なのでしょう?

A: 法人の合併には、一般的には当事者の1社が存続し他の会社が消滅する吸収合併と、当事者の全社が一旦消滅し新たに新会社を設立する新設合併とがあります。

特定非営利活動促進法(NPO法)の第33条でも「特定非営利活動法人は、他の特定非営利活動法人と合併することができる」とされていますが、第31条では合併は解散事由と定められており、さらに第37条では「合併により特定非営利活動法人を設立する場合には、定款の作成その他特定非営利活動法人の設立に関する事務は、それぞれの特定非営利活動法人において選任した者が共同して行わなければならない」と当然に新設合併でなければならないことを定めています。

相手方のNPO法人はこのような事務の煩雑さを避けて、簡便な方法を選んだものと思われる。

NPOセンターからのお知らせ

新収図書・資料のお知らせ

～NPOセンター鎌倉～

《図書》

◇「VEGE STYLE BOOK」

発行：鎌倉ベジカルチャーmap 2010年5月
(同会より受贈)

◇「合同句集 手稲」

著者：手稲句会 関口鉄人 2010年1月
(同会より受贈)

《DVD》

◇「かまくら市民活動の日フェスティバル・2010」

編集：フェスティバル実行委員会 2010年5月

◇「ふたりの時を心に刻む」(認知症ケア研修ビデオ)

発行：福岡認知症ケアネットワーク 2010年3月
(石川勝己氏より受贈)

新規登録団体の紹介(平成22年9月1日現在)

☆玉縄城築城500年祭実行委員会：玉縄城築城500年祭の実施を主宰するとともに、玉縄の歴史を伝え、城域を中心とする緑の保全を行う活動。

☆現代のかけこみ寺 生き方塾：うつ、自殺に対する市民への啓蒙活動。ゲートキーパーの育成。生きがい教育の推進。

☆増淵箏学院「お箏を楽しく」の会：お箏をとおして日本音楽の良さの普及を進める活動。

☆混成合唱団ムジカおさらぎ：歌を楽しむとともに、「カンボジア地雷除去」などの支援のためのチャリティーバザーや募金活動を行う。

☆子ども大学かまくら設立準備委員会：専門家が行う授業を通して、子どもの素朴な「なぜ」に答える「子ども大学」を鎌倉に設立するための準備活動。

NPO支援かまくらファンド審査会開催

「NPO支援かまくらファンド」助成対象団体を募集します。毎年恒例の審査会です。別紙の「お知らせ」をご覧くださいの上、ふるってご応募ください。

開催日時：11月3日(水・祝) 13時～

会場：たまなわ交流センター 2階 会議室

申込期間：10月1日～10月15日

JR鎌倉駅地下道ギャラリー展

JR鎌倉駅地下道ギャラリー展が11月11日(木)～17日(水)の期間に開催されます。パネル展示団体を募集致しますので「お知らせ」をご覧くださいの上、お申し込み下さい。

平成22年9月1日現在 **利用登録団体数:383団体**

お願い 利用登録団体の登録内容(連絡先・代表者・活動内容等)が変更された場合は速やかにご連絡ください。

古本の回収にご協力ください

古本の回収をしています。回収された本は「セカンド・ブックアーチ」に引き取られ、当NPOセンターを運営する運営会議をはじめとする様々な市民活動団体に支援金または、寄贈の形で還元されています。

＜回収できる本＞単行本、文庫本、漫画、新書、絵本、児童書、専門書(文学、法律、コンピュータなど)、パンフレット(映画・演劇など)、資格の本やテキスト、写真集、月刊・季刊雑誌 など

＜回収できない本＞漫画雑誌、百科事典、タウンページ、汚れのひどい本、水に濡れてしまった本、破れてしまった本 など



発行：鎌倉市市民活動センター

編集：特定非営利活動法人 鎌倉市市民活動センター運営会議 広報部会

<http://www3.ocn.ne.jp/~npo-kama/>

NPOセンター鎌倉

〒248-0012 鎌倉市御成町 18-10

TEL:0467-23-3000 内線 2655

TEL:0467-60-4555(直通)

FAX:0467-61-3928

E-mail:npo@chive.ocn.ne.jp



NPOセンター大船

〒247-0061 鎌倉市台 1-2-25

(たまなわ交流センター 1階)

TEL/FAX:0467-42-0345

E-mail:npo2@abelia.ocn.ne.jp